

盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 取組状況（令和4年度）について

各施策の進捗状況の評価基準は、次のとおりとする。

- (1) ↑…「目標値に到達」：令和4年度の実績が令和6年度の目標値を超えているもの
- (2) ↗…「順調に推移」：平成30年度の基準値と令和4年度の実績を比較し、増加率が4割超のもの
- (3) →…「停滞」：平成30年度の基準値と令和4年度の実績を比較し、増加率が2割未満のもの
- (4) ↘…「後退」：平成30年度の基準値と令和4年度の実績を比較し、減少しているもの

基本目標1 若者・女性をひきつけるしごと創造

基本目標1の進捗状況

大学卒業生の地元就職率は、県外流出の動きが見られ改善にいたっていないが、県内就職を希望する高校生や新規就農者数については、目標値に向け順調に推移している。今後も起業支援や企業誘致、新事業拡大などにより若者に魅力のある多様な仕事の創出を図るとともに、企業の認知度・魅力の向上と若者の地元定着に向けた取組を推進する必要がある。

【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況	担当課
盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合	%	67.0	68.4	70.0	70.2	70.0	↑	経済企画課
大学卒業生の地元就職率	%	44	43	44.9	41	55	↘	企画調整課
盛岡公共職業安定所管内の就職率（新規学卒者除く。）	%	38.3	33.2	34.1	33.8	42.5	→	経済企画課
盛岡公共職業安定所管内の雇用保険適用事業所数	社	8,426	8,407	8,436	8,435	8,700	→	経済企画課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

【現状分析と今後の方向性】

■「盛岡公共職業安定所管内の就職を希望する高校3年生のうち県内就職を希望する者の割合」は令和4年度は70.2%となっており、令和6年度目標値70%に達しているものの、就職を希望する高校生が減っていることから、企業の人材確保は厳しい状況にある。また、「大学卒業生の地元就職率」については、令和4年度は41%と、前年度に比較し3.9ポイント後退しており、県外流出の動きが継続してみられることから、地元企業の魅力を伝え、大学卒業生の地元定着に向けたさらなる取組を推進する必要がある。

■盛岡公共職業安定所管内の就職率については近年横ばい傾向であるが、求人と求職者が望む職種や条件が一致しないなどの雇用のミスマッチが生じていると考えられ、就職率の増加に至っていない。今後は、社会経済活動の正常化に伴い、各職種の求人・求職とも増加し、雇用のミスマッチの解消により就職率も向上すると見込まれる。

戦略1 多様な仕事の創出

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
市インキュベーション*施設の稼働率	%	85.2	64.0	90	81.5	88.8	↓	ものづくり推進課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓>

*インキュベーション施設

…新規事業の起業支援や、起業家やベンチャー等を自立の目途がつくまで支援する施設のこと。インキュベーションとは孵化（ふか）という本来の意味から転じた経済用語。市インキュベーション施設は、市産業支援センター、市産学官連携研究センター、市新事業創出支援センター。

【現状分析と今後の方向性】

■「市インキュベーション施設の稼働率」は、令和4年度実績は81.5%と、前年の90%を下回った。創業支援事業における「起業家塾」を受講した創業者や創業希望者がインキュベーション施設へ入居し、インキュベーションマネージャー等の支援を受けるといった流れの創業が少ない状況にあり、それに伴いインキュベーション施設の入居率が低下しつつある。今後は、施設に起業・創業の相談窓口があることや入居メリットなどの情報を、市広報や起業家塾で周知し、創業・起業支援の取組を推進していく。

■企業の誘致については、立地を希望する企業の条件に合致する用地や空きオフィスが少ないものの、企業からの問い合わせに丁寧に物件の紹介を行い、道明地区新産業等用地（第1事業区6区画）が完売となった。今後は成長分野に位置づけるヘルステック産業及びIT産業の企業集積を促進するため、これらの分野にかかわる企業情報の把握に努め、当市の産業用地及び優遇制度等の概要を広く周知し、効果的な企業誘致活動を展開する。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-1-1 創業支援事業【◎】	○	○	○	○		ものづくり 推進課
1-1-2 盛岡市産学共同研究事業補助金【◎】	○	○	○	○		ものづくり 推進課
1-1-3 市インキュベーション施設の管理運営事業【◎】	○	○	○	○		ものづくり 推進課
1-1-4 女性の起業・就労支援事業	○	○	○	○		男女共同参画 推進室
1-1-5 成長分野拠点形成支援事業	◆	◆	○	○		ものづくり 推進課
1-1-6 新産業等用地整備事業	○	○	○	○		新産業拠点形 成推進事務局
1-1-7 道の駅設置事業【◇】	○	○	◆	◆		道の駅整備推 進室
1-1-8 工場新設拡充等事業	○	○	○	○		ものづくり 推進課
1-1-9 盛岡広域企業誘致推進事業【◎】	○	○	○	○		ものづくり 推進課
1-1-10 国際リニアコライダー*誘致推進事業	○	○	○	○		国際リニアコ ライダー推進 事務局
1-1-11 盛岡 A I ・ I o T プラットフォーム事業【◇】	○	○	◆	◆		ものづくり 推進課
1-1-12 盛岡南地区物流拠点整備事業			○	○		新産業拠点形 成推進事務局
1-1-13 未来技術社会実装推進事業【◇】				○		ものづくり 推進課
1-1-14 地域企業成長加速支援事業【◇】				○		ものづくり 推進課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX 推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

* 国際リニアコライダー（I L C）

…全長 30km を超える直線の地下トンネルの中に設置される直線形衝突型加速器で、トンネルの中央で電子と陽電子を衝突させる実験装置のこと。I L C の建設地として、「北上高地」が候補地の一つとして挙がっており、建設が実現すれば、国際的な都市機能の充実、施設建設に伴う関連産業の定着、研究成果を活用した産業の創設など、地域経済への多大な波及効果が期待できる。

戦略2 仕事の魅力の向上

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況	担当課
卸・小売の年間販売額*1	億円	12,664	未実施	11,779	未実施	11,800		経済企画課
1企業あたりの商業サービス業 の企業売上高*1	千円	199,022	未実施	213,826	未実施	185,175		経済企画課
製造品出荷額等	千万円	11,962	12,288	12,554	11,041	11,017	↘	ものづくり 推進課
新規就農者数（累計）	人	150	186	201	210	211	↗	農政課
農業総生産額*2	百万円	9,459 (8,389)	8,965 (8,053)	9,779 (7,835)	9,910	10,025	→	農政課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

*1「卸・小売の年間販売額」及び「1企業あたりの商業サービス業の企業売上高」は経済センサス（5年ごと調査）によるもの。

*2「農業総生産額」については、推計方法の変更や新しい統計結果等により遡及改定されるため、過去の公表値と異なる場合がある。（ ）は過去の公表値。

【現状分析と今後の方向性】

■「製造品出荷額等」の実績値は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、製造業などの業績が減退したことが指標に表れたものと考えられる。令和4年度には、生産用機械やはん用機械などの生産活動の持ち直し基調や企業の設備投資の増加も見受けられたことから、新技術の製品化・事業化の支援など、企業に寄り添った支援により業績回復を目指すため、企業サポート専門員や共同研究員を中心に、事業者ごとの課題等の把握に努め、情報提供や助言・指導を行う。

■「新規就農者数」については、国の「農業次世代人材投資事業」、「新規就農者育成総合対策」に加え、市単独の「親元就農給付金事業」による支援を行ったほか、「農業経営改善支援員」による伴走型の相談業務により、令和4年度は9人の新規就農者を確保した。農業者の高齢化、担い手不足に対応するため、引き続き新規就農者の育成・確保に努めるとともに、新規就農者の収入の安定化や農業技術の習得等について、関係機関と連携したきめ細やかな支援を継続する必要がある。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-2-1 新規就農支援事業	○	○	○	○		農政課
1-2-2 木材需要拡大推進事業	○	○	○	○		林政課
1-2-3 ものづくり産業魅力向上事業【◎】	○	○	○	○		ものづくり推進課
1-2-4 食と農のバリューアップ推進事業	○	○	○	○		食と農の連携推進室
1-2-5 盛岡の食材プロモーション事業	○	○	○	○		食と農の連携推進室
1-2-6 商店街等魅力強化支援事業	○	○	○	○		経済企画課
1-2-7 森林経営管理事業【◇】	○	○	○	○		林政課
1-2-8 森林適正管理推進事業	○	○	○	○		林政課
1-2-9 中小企業事業承継支援事業	○	○	○	○		経済企画課
1-2-10 中小企業生産性向上支援事業【◇】	○	○	○	○		経済企画課 ものづくり推進課
1-2-11 中小企業支援に係る金融機関と協定の締結	○	○	○	○		経済企画課
1-2-12 伝統産業振興事業	○	○	○	○		ものづくり推進課
1-2-13 介護の仕事魅力発信事業		-	○	○		介護保険課
1-2-14 盛岡市介護職員奨学金返済支援事業		-	○	○		介護保険課
検討事業	まちなかりノベーション推進事業					経済企画課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

戦略3 ワーク・ライフ・バランスの推進

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数	社	89	61	52	66	197	↓	経済企画課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓>

【現状分析と今後の方向性】

- 「ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数」は、令和4年度は66社となり、平成30年度基準値は下回ったものの前年度より増加した。地元企業を対象に、ICTやIoTを活用して働き方改革に取り組む研修を開催したほか、すでに働き方改革に取り組んでいる事業者による自社の取組状況や課題などを共有する勉強会も開催し、参加事業者からはおおむね好評を得ている。今後も、ICTの活用による生産性向上とワーク・ライフ・バランスを実現し、働く人にとって魅力ある職場となり、選ばれる企業となるための支援を行っていく。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
1-3-1 魅力ある職場づくり推進事業【◇】	○	○	○	○		経済企画課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

戦略4 地域経済を担う人材の育成・確保

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
ジョブカフェいわての利用者数	人	51,501	73,207	76,051	97,444	55,000	↑	経済企画課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↑、停滞…→、後退…↓>

【現状分析と今後の方向性】

- 「ジョブカフェいわての利用者数」は、令和6年度の目標値を大きく超え、達成となっている。岩手県が設置する「ジョブカフェいわて」において、カウンセラーを配置して就職に関するカウンセリング等を行っているが、積極的に学校に出向いてのセミナー開催や県事業との連携により、きめ細やかなカウンセリングが実施できていることから、利用者は目標を大きく上回っており、若い世代に十分認知されているものと考えられる。今後も、就業体験（インターンシップ）事業の推進やジョブカフェいわてと連携した取組を通じて、地元企業の魅力を伝え、若者の地元定着を図っていく。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
1-4-1 高校生等地元就職フォローアップ事業【◎】	○	○	○	○		経済企画課
1-4-2 若年層雇用対策事業【◎】	○	○	○	○		経済企画課
1-4-3 ものづくり人材育成事業【◎】	○	○	○	○		ものづくり推進課
1-4-4 盛岡テクノミュージアム設置事業	○	○	○	○		ものづくり推進課
1-4-5 移住・就労マッチング支援事業【◇】	○	○	○	○		都市戦略室
1-4-6 中小企業人材育成支援事業	○	○	○	○		経済企画課
1-4-7 多様な人材が活躍できる職場づくりの推進に向けた事業者への啓発と支援事業	○	○	○	○		男女共同参画推進室
1-4-8 林業労働対策事業	○	○	○	○		林政課
1-4-9 女性の起業・就労支援事業(再掲)	○	○	○	○		男女共同参画推進室
1-4-10 働く場における女性の活躍推進事業	○	○	○	○		男女共同参画推進室
検討事業	多様な主体の活躍の推進に関する調査研究					都市戦略室
検討事業	ふるさとワーキングホリデー事業					経済企画課
検討事業	中小企業デジタル化促進モデル事業【◇】					経済企画課
検討事業	オンライン就職面談会【◇】					経済企画課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX 推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

基本目標2 切れ目のない結婚・出産・子育て支援

基本目標2の進捗状況

「合計特殊出生率」「出生数」「婚姻数」とも減少し少子化が加速しているが、1月1日時点での待機児童数0人を3年連続達成し、「市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」市民の割合は少しずつ向上している。今後もニーズをとらえた更なる施策の充実に努め、安心して産み育てられる環境を整備する必要がある。

【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
合計特殊出生率*	率	1.35 (H29)	1.28 (R1)	1.28 (R2)	-	1.45	↘	子ども 青少年課
出生数	人	2,245 (H29)	2,004 (R1)	1,873 (R2)	-	2,184	↘	子ども 青少年課
婚姻率	千人 対	4.7 (H29)	4.6 (R1)	4.1 (R2)	-	4.7	↘	子ども 青少年課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

*出生数が減少するなか、令和6（2024）年までに合計特殊出生率が1.45に改善し、加えて20-39歳までの社会増減がゼロになると仮定して算出した出生数の推計値（「合計特殊出生率」、「出生数」及び「婚姻数」は県の統計によるもので、令和4年の結果はまだ公表されていない。）

【現状分析と今後の方向性】

- 「合計特殊出生率」、「出生数」及び「婚姻数」の令和4年の数値が公開前なので、進捗状況の評価は令和3年分で行う。15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した「合計特殊出生率」が、令和2・3年ともに基準値の1.35を下回っているほか、出生数も毎年減少しており、少子化が加速している状況である。若い世代が希望通り結婚し、希望する誰もが子供をもち、安心して子育てができる環境整備に向けて、「子育てに係る経済的支援の強化や、若い世代の所得向上に向けた取組」、「全ての子育て世帯を対象とする支援の拡充」、「共働き・共育での推進」など、国で掲げる「子ども未来戦略方針」と一体となり、強力に取組を推進する必要がある。

戦略5 結婚の希望に応える支援

【KPI（重要業績評価指標）※1】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
いきいき岩手結婚サポートセンター*の成婚実績数（各年）	組	23	13	14	12	25	↘	子ども 青少年課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

【現状分析と今後の方向性】

- 「いきいき岩手結婚サポートセンターの成婚実績数」は12件で、基準値・目標値の約半分となっている。これはコロナ禍により出会う場等が制限されたことが要因と考えられる。今後は、社会経済活動が活発化していくことが見込まれることから、県等と連携しながら、積極的な周知活動によりサポートセンターの認知度の更なる向上に努め、利用促進を図り、婚姻件数の増加を図る。

* いきいき岩手結婚サポートセンター

…結婚を希望する方々を支援するため、岩手県や県内市町村などが連携して平成27年10月1日に設置。出会いの機会を提供することで、パートナー探しを支援する。通称『i-サポ』

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
2-1-1 いきいき岩手結婚サポートセンターの運営への参画	○	○	○	○		子ども 青少年課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

戦略6 安心して子どもを産み育てられる環境整備

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況	担当課
保育所待機児童数 (各年度1月1日現在)	人	84	0	0	0	0	↑	子育て あんしん課
市民アンケートで「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	19.9	23.2	19.0	20.8	50.0	→	子ども 青少年課
市民アンケートで「子育てを楽しんでいると感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	74.2	79.3	82.1	77.3	80.0	↗	子ども 青少年課
子育て支援サービス利用者数	人	81,856	28,694	26,689	38,836	86,868	↘	子ども 青少年課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

【現状分析と今後の方向性】

- 1月1日時点での待機児童数0人を3年連続達成（4月1日時点の待機児童は7年連続0人）したが、年間を通じた保育所入所希望者全員の入所には至っていない。第2期盛岡市子ども・子育て支援事業計画における地域ごとの教育・保育の必要な量の見込みと、空き待ち児童の現状を比較しながら、保育所定員の弾力化などに、引き続き支援を行う。
- 「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合は、前年度比1.8ポイントの増となったものの、依然として目標値には大きく届かない状況で推移している。これまで、待機児童対策緊急プロジェクトや、児童の放課後の居場所の整備、子育て世帯への経済的支援策の拡充のほか、子育て世代に広く活用されているスマートフォンを対象とした情報発信（LINEやアプリ）など、各般の施策の推進に取り組んできたところであるが、目標達成に向けて、今後、ニーズを捉えた更なる施策の充実に努める必要がある。
- 「子育てを楽しんでいる」と感じる親の割合は、令和元年度以降目標値に近い値もしくは目標値を超える値で推移してきたものだが、4年度は前年度比4.8ポイントの減となった。育児不安の解消に向け、産後ケア事業や子育て相談の充実、第2子以降の保育料の無償化や各種医療費助成制度による経済的負担軽減策に取り組んできたところだが、長引くコロナ禍の影響のほか、物価高騰が子育て家庭への負担の増加につながったことが大きな要因と考えられる。保護者のニーズを敏感に捉えた子育て施策の展開を行うとともに、子ども・子育て情報が必要とする人に適切に届くよう、引き続き情報発信の充実を図る。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
2-6-1 待機児童解消強化事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-2 私立児童福祉施設等整備助成事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-3 企業主導型保育事業の推進	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-4 私立児童福祉施設等運営事業	○	○	○	○		子ども青少年 課・子育てあ んしん課
2-6-5 保育所管理運営事業【◇】	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-6 特別保育事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-7 地域児童クラブ運営事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-8 放課後児童健全育成事業実施施設整備補助事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-9 児童館管理運営事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-10 児童館整備事業			○	○		子ども 青少年課
2-6-11 医療費給付事業（妊産婦、乳幼児、小学生、中学生、高校生等）	○	○	○	○		医療助成年金 課
2-6-12 母子保健事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-13 産婦健康診査事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-14 産後ケア事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-15 新生児聴覚検査事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-16 乳幼児健康診査事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-17 小児救急輪番制病院事業【◎】	○	○	○	○		企画総務課
2-6-18 地域における子育てサロン支援事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-19 地域子育て支援センター事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-20 赤ちゃんの駅設置事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-21 乳児家庭全戸訪問等事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-22 公民館による子育て関連講座	○	○	○	○		生涯学習課
2-6-23 空き家バンク制度の普及	○	○	○	○		都市計画課
2-6-24 子どもに安心して教育を受けさせるための取組	○	○	○	○		学務教職員課 学校教育課

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
2-6-25 子育て世代包括支援センター事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-26 子どもの貧困対策推進事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-27 子ども家庭総合支援センター事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-28 養育支援訪問（家事援助）事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-29 子育て支援員等研修事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-30 認定こども園等運営費給付事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-31 子育て応援プラザ運営事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-32 子ども未来基金事業	○	○	○	○		子ども 青少年課
2-6-33 保育士確保対策事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-34 不妊に悩む方への特定治療支援事業	○	○	○	○		母子健康課
2-6-35 予防接種事業	○	○	○	○		指導予防課
2-6-36 就学援助事業	○	○	○	○		学務教職員課
2-6-37 保育所等副食費助成事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-38 第2子以降の保育料の無償化事業	○	○	○	○		子育て あんしん課
2-6-39 余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業			○	○		子ども 青少年課
2-6-40 子ども・子育て情報発信事業【◇】			○	○		子ども 青少年課
2-6-41 出産・子育て応援交付金等事業				○		母子健康課
検討 事業	つどいの広場管理運営事業					子ども 青少年課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

基本目標3 躍動する中核都市としての魅力・求心力の向上

基本目標3の進捗状況

新型コロナウイルスの影響が残る中でも、3年ぶりの祭り・イベントの開催や宿泊需要喚起策を実施し、観光基盤の維持や観光客入込数の回復につながった。また、テレワークの普及やニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」に選定されたことにより、移住相談件数や移住支援金による移住件数が増加した。今後はデジタル化によるまちづくりも推進しながら、関係・交流・移住人口の拡大に取り組み、人口の社会減の対策を一層進展させる必要がある。

【数値目標】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
20歳から39歳までの人口移動数	人	△395	△329	△135	△660	0	↘	企画調整課
観光客入込数	万人 回	508	324	310	370	530	↘	観光課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

【現状分析と今後の方向性】

■「20歳から39歳までの人口移動数」は令和4年度△660人となっており、依然として若者の東京圏や宮城県など、他自治体への転出超過が続いていることから、一層人口対策を進展させる必要がある。このことから、県外在住者を対象に、若年層向けの情報発信など、本市とのつながりの機会を創出することにより、関係人口の創出と拡大を図り、将来的な移住人口の拡大を促進する。また、テレワークの普及やコロナ禍を契機とした地方移住への関心が高まっているこの機を捉え、移住コーディネーター等を配置し「仕事」と「暮らし」の相談支援体制の強化を図るとともに、移住支援金を支給し、移住・定住の促進に取り組んでいく。

■「観光客入込数」はコロナ禍の影響が残る中であったものの、祭り・イベントを3年ぶりに開催するとともに、令和3年度に引き続き宿泊需要喚起策である「盛岡の宿応援割」事業を実施し、観光基盤の維持や観光客入込数の増加につながる取組を行った。また、インバウンド需要が低迷している状況であったが、盛岡 City Wi-Fi の整備や、デジタル観光マップの作成などを行い、来るべきインバウンド回復に向け、受入環境整備を進めた。令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定されたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備及び誘客宣伝活動を行っていく必要がある。

戦略7 関係人口・交流人口の増加

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
宿泊観光客数	万人 回	99	66	68	91	115	↘	観光課
外国人観光客入込数	万人 回	5.0	1.0	0.4	0.7	15.0	↘	観光課
ふるさと納税寄付人数	人	1,797	5,079	6,890	10,294	4,500	↑	都市戦略室

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

【現状分析と今後の方向性】

- 「宿泊観光客数」は、令和4年度は91万人回、「外国人観光客入込数」も、0.7万人回と、前年度に比べ回復している。新型コロナウイルスの影響が残る中であったものの、域内における観光需要を喚起するため、宿泊事業者を支援する「盛岡の宿応援割」事業を5月から3月まで継続的に実施し、観光客入込数の確保と回復の一助となった。令和5年1月にニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定されたことを契機に、国内外からの観光客の受入態勢の整備及び誘客宣伝活動を行っていく必要があることから、今後の事業展開に当たり、令和3年12月に策定した「ポストコロナ時代を見据えたアクションプラン」について、発展的な見直しを行っていくとともに、外国人観光客に向けた体験メニューやまち歩きなどの紹介や郷土伝統芸能に触れられる機会の創出など、観光資源のブラッシュアップや国内外におけるPRイベントへの参加等に取り組む。
- 「ふるさと納税寄付人数」は、令和4年度10,294人と、令和6年度目標値を達成し、大幅に増加した。ふるさと納税市場自体の増加や新型コロナによる巣ごもり需要に加え、新たな返礼品の取扱やポータルサイトの追加等により、納税件数及び金額が大幅に増加し、関係人口の増加に一定の効果を果たしている。さらなる普及に向け、返礼品の見直しやプロモーションの強化、ポータルサイトの拡大・充実のほか、寄附金の使途への共感により寄附者を増やす仕組みづくりに取り組む必要がある。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-7-1 シティプロモーションの推進（アウタープロモーション）	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-7-2 スポーツ・ツーリズムの推進【◎】	○	○	○	○		スポーツ推進課
3-7-3 盛岡芸妓育成事業	○	○	○	○		観光課
3-7-4 外国人観光客誘致推進事業【◎】	○	○	○	○		観光課
3-7-5 教育旅行誘致推進事業【◎】			○	○		観光課
3-7-6 開運橋魅力向上事業	○	○	○	○		観光課
3-7-7 観光プロモーション事業	○	○	◆	◆		観光課 ものづくり 推進課
3-7-8 祭り・イベント振興事業	○	○	○	○		観光課
3-7-9 MICE誘致推進事業【◎】	○	○	○	○		観光課
3-7-10 広域観光推進事業【◎】	○	○	○	○		観光課
3-7-11 いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への参画	○	○	○	○		公園みどり課
3-7-12 ふるさと納税制度の普及【◇】	○	○	○	○		企画調整課
3-7-13 大型観光キャンペーン事業	○	○	○	○		観光課
3-7-14 総合交流ターミナル機能拡充事業	○	○	○	○		産業振興課
3-7-15 盛岡ファン・コミュニティの活動支援・環境整備【◇】	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-7-16 関係人口等と地域課題のマッチング支援等	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-7-17 サクラパーク姫神を拠点とした桜の名所づくり	○	○	○	○		産業振興課
3-7-18 盛岡地区かわまちづくり事業	○	○	○	○		公園みどり課
3-7-19 小学生農村体験交流事業	○	○	○	○		玉山総合事務所総務課
3-7-20 地域活性化起業人活用事業				○		都市戦略室
検討事業	若者をひきつける都市の調査・研究【◇】					都市戦略室
検討事業	県外企業・大学を対象とした関係人口創出事業【◇】					都市戦略室

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

戦略8 地元への愛着の形成、移住・定住の促進

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
UIターン相談件数	件	164	153	202	265	300	↗	都市戦略室
移住支援金を活用して移住した件数（各年）	件	0	4	8	20	11	↑	都市戦略室

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↓>

【現状分析と今後の方向性】

- 「UIターン相談件数」は、令和4年度265件であり、前年度までの実績と比べて1.3倍程度の増加となった。特に、ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」にロンドンに次いで2番目に選定された令和5年1月以降の移住相談件数が、前月までと比べ約2.6倍増加した。今後も、SNSを活用した情報発信や移住体験ツアー、首都圏での移住イベントへの出展、移住支援金を支給するなど、移住・定住施策を重点的に推進し、受入体制の整備に取り組んでいく。
- 移住支援金を活用して移住した件数については、新型コロナウイルス感染症拡大を契機としてテレワークが浸透し、場所を選ばず仕事ができるようになったことなどを理由に増加しており、令和6年度目標値を達成している。特に、令和4年度は、申請者の8割程度がテレワーカーの交付要件であったことから、テレワーカーの移住先として需要があることが伺える。今後も、支援金活用による移住者を増加させるため、情報発信等を強化し制度を周知する必要がある。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-8-1 地域おこし協力隊※活用事業【◎】	○	○	○	○		企画調整課 都市戦略室 農政課 産業振興課
3-8-2 官民連携による移住・交流を促進するための拠点の整備	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-8-3 お試し居住事業（盛岡広域移住・定住促進事業を含む。）【◎】	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-8-4 移住・定住の促進にかかるプロモーション【◇】	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-8-5 定住化対策空き家利用促進事業	○	○	○	○		都市計画課
3-8-6 シティプロモーションの推進（インタープロモーション）【◇】	◆	◆	◆	○		都市戦略室
3-8-7 移住・就労マッチング支援事業（再掲）【◇】	○	○	○	○		都市戦略室
3-8-8 高校生等を中心とした地域課題解決・愛郷心の形成	○	○	○	○		都市戦略室

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX 推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用

※ 地域おこし協力隊

…都市地域から過疎地域等の条件不利地域に生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。

戦略9 都市機能の強化

【KPI】

指標	単位	H30 基準値	R2	R3	R4	R6 目標値	進捗 状況 ¹	担当課
1日あたりのバス・鉄道利用者数	人	75,827 (H29)	72,769 (R1)	52,265 (R2)	51,311 (R3)	74,600	↘	交通政策課
宿泊観光客数（再掲）	万人 回	99	66	68	91	115	↘	観光課

<進捗状況：目標値に到達…↑、順調に推移…↗、停滞…→、後退…↘>

【現状分析と今後の方向性】

- 1日当たりのバス・鉄道利用者数は、平成30年度までは目標値を超えていたが、令和元年度以降は目標値を下回り、特にコロナ禍の影響が本格化した令和2年度以降は大幅に減少している。人口減少に加えて、コロナ禍による外出手段の変更や外出機会の減少により、利用者が大幅に減少し、公共交通事業者の経営は厳しい状況にある。公共交通機関の維持存続を図りつつ、コロナ禍終息後の利用促進策を更に検討する必要がある。
- 人口減少・少子高齢化が進行し、労働生産人口が減少し持続可能な社会経済が維持できなくなることが危惧されている中、国においては新たな対策として、デジタル技術を活用し、労働力を維持しようとデジタル化が推進されている。本市においても、デジタル化によるまちづくりのビジョンを明確にすることで、多分野において統一的に推進し、都市のDXを推進するための戦略として、「盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略」を令和4年度に策定した。今後、課題の把握と推進すべき事業を部局横断で実施する体制を構築し、デジタル技術の実装の可否やその優先度を設定し、計画的にデジタル化を推進していく。また、盛岡市の課題と盛岡広域市町の課題で合致するものがあれば、地域間連携でのデジタル化推進も検討していく。

【計画事業】

事業	現状と今後の取組					担当課
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 以降	
3-9-1 中枢中核都市機能の強化に係る調査研究【◇】	○	○	○	○		都市戦略室
3-9-2 デジタル化による未来社会の創生【◇】	○	○	○	○		都市戦略室
3-9-3 地方創生SDGs推進に係る調査研究【◎】	○	○	○	○		都市戦略室
3-9-4 盛岡市動物公園再整備事業	○	○	○	○		公園みどり課
3-9-5 スポーツ・ツーリズムの推進(施設整備)【◎】	◆	○	○	○		スポーツ推進課
3-9-6 田沢湖線前潟駅整備事業【◇】	○	○	○	○		交通政策課
3-9-7 地域公共交通サービス向上支援事業【◇】	○	○	○	○		交通政策課
3-9-8 まちなかウォークアブル推進事業			○	○		まちなか未来創生室
3-9-9 AIを活用した人流分析システム整備【◇】			◆	○		経済企画課
3-9-10 気候変動対策実行計画推進事業				○		環境企画課

【◎】…「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けられている事業 【◇】…DX推進事業

○…市単独又は地方創生以外の補助金等を活用 ◆…地方創生の交付金を活用